

■日時：H29. 12. 17（日） 14：00～

■場所：粉河ふるさとセンター

■参加者：松山、稲垣、落合、梅景、南條、木村、尾方、川口（敬称略・順不同）

■議事：

今後の活動を下記2パターンで議論。

1. 「ふる博2」までの活動

外国の方々の宿泊が可能と思われる下記施設について、下記情報を収集する。

【宿泊可能と思われる施設】

農家民泊松山さん、ゲストハウス貴水苑さん、農家BAR 前阪さん、
わかば農園津村さん、丸浅旅館、他

【収集すべき情報】

- (1) 「ふる博2」期間中の料金
- (2) 連絡先や住所
- (3) オーナーの写真

【アウトプット】

上記(1)～(3)も盛り込んだ「企画No.37」の英語版チラシ

今後の具体的な作業の進め方については、2チームに分かれて実施。

- ・宿泊先との交渉チーム（松山、深尾、落合、南條、木村、他）
 - ・チラシ作成チーム（稲垣、田村、西峰、梅景、尾方、川口、他）
- 外国の方々にとって、やさしい表現となるよう心がける。

チラシ配布先候補は以下の通り。

- ・和歌山駅、伊太祈曽駅、大阪のゲストハウス（梅景さん）、TAXIの
車内（梅景さん）、関空など

2. 来年度以降の活動

- (1) 民泊新法（H30.6施行）について対応を詰めていきたい。
- (2) 民泊に対する「向かい風」に対しては、梅景さんの知見・ノウハウを拝借し、乗り越えてゆく。
- (3) 農家民泊やゲストハウスを始めたい人たちにとって、「宿泊・場づくりチーム」が「お助けマン」になれるとよい。その為にも、「Q&A集」のようなものを作りましょう！